

ご入学・ご進級おめでとうございます。

昨年度は、コロナ禍で一時休止していたBOPも10月下旬より再開となり、少しずつWithコロナでの新BOPが動き出した年でした。父母会の本来の意義は「保護者同士が横でつながり子育ての仲間を作る」「保護者と指導員と一緒に学童クラブに所属している子ども達を見守る」「1人では言いにくい事を父母会として区に意見を言う」など多々ありますが、コロナ禍で保護者同士が横でつながる事自体が困難になり、活動ができていない父母会が多くなってきています。

そんな中ですが、新BOPは今年度大きな転換期を迎えています。新BOPの大規模化等の課題を解決するために民間の活用を視野に入れて、令和4年度中に「世田谷区放課後児童健全育成事業の運営方針」を策定し、より良い子どもの放課後を目指して事業の質の確保に向けて取り組んでいます。また、5月からは世田谷区61の学童クラブで放課後児童システム（出欠席などのメールシステム）が開始になります。

つながりづらい中ですが、横のつながりを作り、働く保護者の意見を区に届けられる様に、ぜひ父母会・父母連の活動にご参加ください。（会長 伊藤雅代）

POINT

01

不安な気持ちは、まず保護者の友達作りから「保護者同士の横のつながり」が子どもを守り、生活を豊かにする第1歩！



どうやって乗り切る?!
分からないことだらけ
の学校生活 学童生
活+コロナ禍でさらに困難に?



子どもにとって友達が大切なように、保護者にとって友達も大切です。

子どもだって初めての小学校生活ですが、保護者だって不安がいっぱいの1年生です。

保育園と違い毎日の送迎が必須ではなくなるので、学校の先生や学童クラブの指導員さんと直接お話しする機会も減

り、学校や学童クラブの様子や伝達事項は我が子の伝達能力がカギ…となります。また、学童クラブの保護者は、ふだんなかなか他の保護者と交流する機会が少ないため、情報共有が遅くなったり、時には知らなかった、という事になりがちです。

そんなときにコロナ禍前だと父母会主催のイベント（ミニ運動会やバルーンアート作成会、地引網など各父母会で工夫していました）で子どもも大人も楽しみながら交流して子育ての悩みや不安の相談や仲間作りができていました。コロナ禍でイベントが難しい中ですが、ぜひ保護者がつな

がれる場には積極的に参加して横のつながりをつくりましょう。学童クラブ主催の保護者会や学校の保護者会、町内会などの地域の集まりにも積極的に参加して横のつながりを作りましょう。もちろん父母会の中でもラインで横のつながりを作ったりWithコロナの試みをしている父母会もありますのでぜひつながってください！

POINT

02

指導員さんと仲良くしましょう



学校の中に入っていますが、学童クラブは学校と別組織で、役割も違います。

学校は学習の場所ですが、学童クラブは生活の場所です。一見、同じ学校という建物の中で居場所が異動しただけ…と思いがちですが、子どもは学校から学童クラブへ「ただいま」と帰り、学校での緊張を解く居場所となっています。そして学童クラブの指導員さんは、子どもの生活や遊びをサポートしてくれる強い味方です。「生活」の部分を見

守っているのも、学校よりも家庭に近い雰囲気の中で指導をしてくれています。

4月は子どもにとっても環境の変化が著しい時期です。ぜひ積極的に保護者会や連絡帳を活用して指導員さんとたくさん話し、一緒に子どもを育てていくパートナーとして信

頼関係を築いていきましょう。子どもは必ず自立します

保護者同士のつながりや指導員さんとのつながり、そして地域とのつながりが大切です。小学生になると子どもは1人で学校に行き、学校から学童クラブに帰り、そして家に帰ってきます。送迎が必須であった保育園とは違って「1人で」判断しなければならない事も増えて来でしょう。通学途中の地域の方々の見守りも子どもを助けてくれます。

笑って乗り越えていきましょう。自立心配はいつか先輩ママパパ達は、この「1年生の壁」を乗り越えてきた「今は笑い話」なエピソードをたくさんもっています。子どもと一緒に親もゆっくり成長していきましょう。1年後には、笑って話せる日を信じて…

世田谷区学童保育クラブ 父母会連絡会（通称；父母連）とは

主な活動

区内の学童クラブを8つのブロックに分け、ブロックごとに2～3か月に1回情報交換会をしています。父母連からは区や都、全国の学童クラブの状況等をお伝えします。

ソフノの秋況寺での伝しより

新入生保護者のための情報交換会

学童保育クラブ入会をお考えの保護者を対象に、申し込み前に知りたい情報を現役保護者から提供しています。昨年度はzoomで開催しました。

翌年度の予算策定に際し、父母連と各父母会から、区に対して要望・懇談します。

※開催時期・開催方法を区と相談中です。決まり次第お伝えします。要望懇談会のほかにも必要に応じて働きかけをおこなっています。

■「新入生保護者のための学童情報交換会」 ご協力ありがとうございました

参加申し込み数 758名

全体会Youtube閲覧回数 1003回

分科会参加者数 61校344名

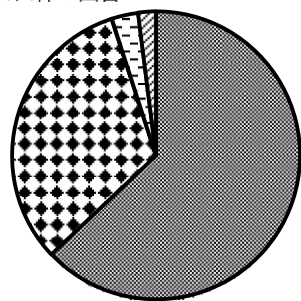
ご協力いただいた現役保護者の方々41校101名

若林、三宿、多聞、山崎、代田、代沢、池之上、中里、中丸、桜丘、世田谷、経堂、赤堤、松丘、笹原、城山、船橋、千歳台、松沢、上北沢、烏山北、八幡山、芦花、烏山、給田、武蔵丘、塚戸、砧、明正、砧南、千歳、玉川、京西、瀬田、用賀、二子玉川、奥沢、東深沢、東玉川、等々力、玉堤

★参加者アンケートの結果より

分科会の説明はいかがでしたか？

194件の回答



● とても良く分かった

● 分かった

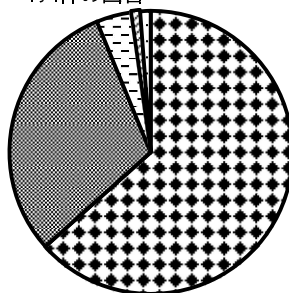
● 普通

● その他

・欠席申し訳ありませんでした。
・途中入室の為、聞けていません。

来年度の新入生の保護者の方に、情報交換会への参加を勧めたいと思いましたか？

194件の回答



● 是非勧めたいと思う

● 勧めたいと思う

● あまり勧めようと思わない

● 勧めようと思わない

● その他

・欠席申し訳ありませんでした。
・質問したいことがあれば参加すればよいが、そうでなければ、区から出ている資料で十分と感じたので参加しなくてよいと思う。
・不安のある方には勧めたい

WEB開催2年目となる「新入生保護者のための学童情報交換会」、現役保護者のご協力のもと無事大成功で終える事ができました。今年度は保育園に加えて幼稚園、認定こども園等40園程にもチラシを配布しました。

日頃よりブロック会をZoom開催しているからか、現役の方々や父母連役員もZoomの扱いが慣れてきたように思います。ただ、初対面のオンラインの場での分科会進行は大変緊張されたと思います。事前の準備で学童クラブに足を運びたくさんの写真をとって資料を作成したり、当日参加メンバーを集めていただいたり、現役の方々のご協力あつての会であるとしみじみ感じました。そしてこの様な会が開催できるのも、父母会があり、父母会と父母会をつなぐ父母連という組織があるからこそであり、コロナ禍であっても「つながっている」事での可能性を感じる会となりました。ぜひ来年の新1年生保護者のためにも「父母会」を存続して「つながりのバトン」をつないでいっていただければと切に思います。

★参加父母会の感想

父母会アンケートでは「オンライン開催だと移動時間がなく気軽に参加できる、子どもがいても参加できる」と、オンライン開催の利便性を評価する声を多くいただきました。一方で「対面で話した方が話しやすい、対面での一体感が欲しい」等、対面開催を望む声もありました。

父母連からのお知らせ

◆ 父母連総会の開催を見送ります ◆

父母連では毎年5月に総会を実施していますが、昨年度同様、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見合わせることにいたします。

総会に代えて、5月中旬頃今年度の活動方針を父母連ホームページに掲載いたします。活動方針に関する会員のみなさまからのご意見については、メールでいただく等の方法を検討しております。詳細は父母連ホームページ上でお知らせして参ります。

◆ 父母連会費の徴収を再開します ◆

2022年度は金額を1人200円に減額（従来は400円）して会費の徴収を再開します。2020、2021年度の2年間は新型コロナウイルスの影響により父母会活動が難しい状況が続いたため、父母連会費の徴収を見合わせました。この間父母連では印刷費の見直し、新入生保護者のための情報交換会や会議のオンライン開催への変更等により支出を削減しました。支出の削減に加えて、2022年度もまだ新型コロナウイルスの影響が続くことが見込まれ、十分な活動ができないことが想定されるため、会費を半額とします。父母会での会費徴収方法等で困ることがありましたらご相談に参ります。父母連までご連絡ください。



父母連ニュース No.1

2022年5月31日発行

編集・発行：世田谷区学童保育クラブ父母会連絡会

URL: <https://www.fuboren.tokyo/>

【父母連HP】



【父母連メール】



お問い合わせは、父母連事務局まで

Email: info@fuboren.tokyo

バックナンバー
はこちら！

